

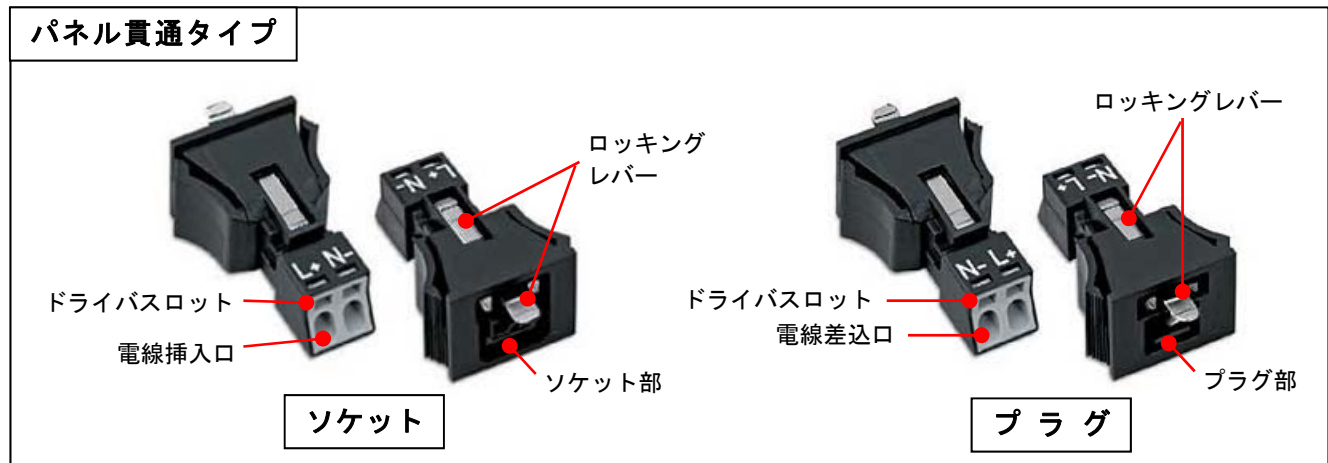
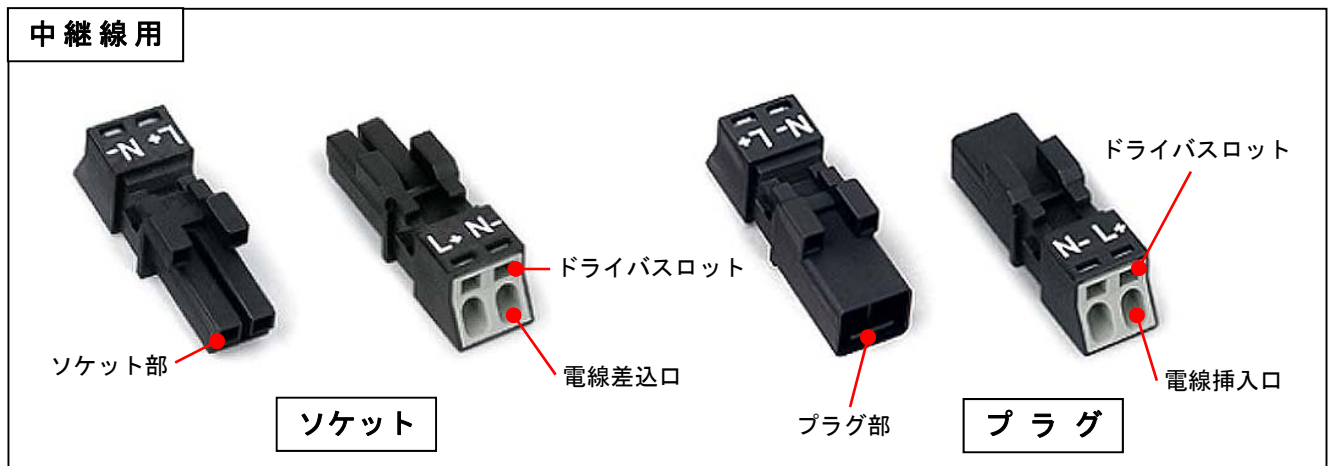
結線作業説明書

コネクタ「WINSTA(ウィンスタ)MINI」 890シリーズ

■ 仕様

2, 3 極 …	定格電流 : 16A	定格電圧 : 250V	定格サージ電圧 : 4kV	環境汚染度 : 3
4 極 …	定格電流 : 16A	定格電圧 : 400V	定格サージ電圧 : 6kV	環境汚染度 : 3
5 極 …	定格電流 : 13A	定格電圧 : 400V	定格サージ電圧 : 6kV	環境汚染度 : 3
適合電線 : より線 0.25~1.5mm ² (AWG22~16) / 単線 φ0.6~φ1.2mm				

■ 構造 コネクタの構造及び各部の名称を下図に示す。



■ 使用工具

● ドライバ



ドライバ(標準)
型番 : 210-719

ドライバ(ミニ)
型番 : 210-119SB

● ワイヤストリッパ (推奨)

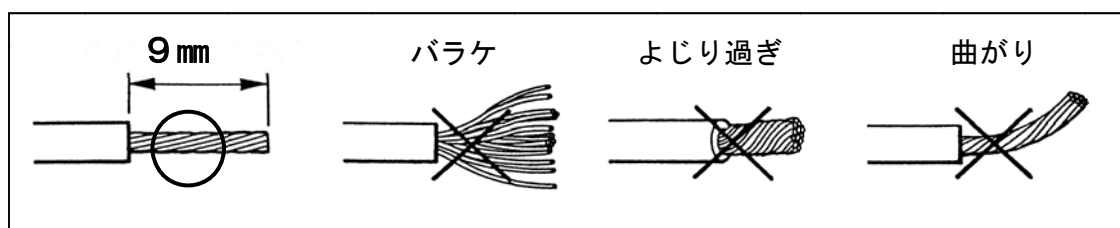


ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用下さい。

クイックストリッパ
型番 : 206-124

2. 結線方法

- 電線のむき出し ○必ず規定のむき長さを守ってむき出して下さい。

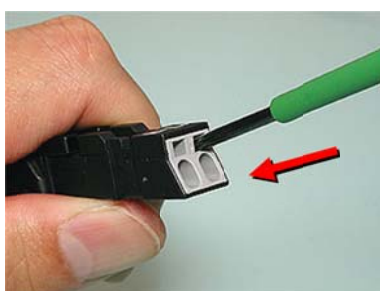


注意: ストレインリリーフハウジングを取り付ける場合は、結線前にストレインリリーフハウジングのサイズに合わせてシースをむき出してください。むき出し長さについては4ページを参照してください。

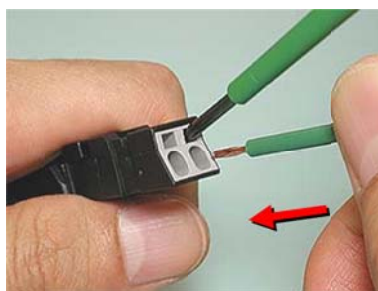
- 結線作業 ○下図に従って作業して下さい。

※原則として1つの電線挿入口には1本の電線を接続して下さい。
(JIS B 9960-1 (IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

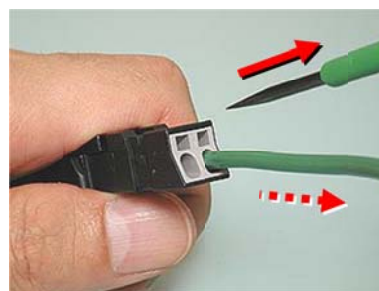
- より線を結線する場合。



① ドライバを操作用スロット(角穴)に斜めに差し込みます。正しく差し込めばドライバは保持されます。

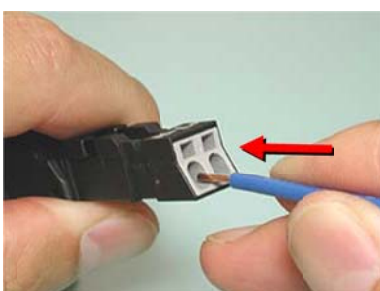


② 正しくむき出した電線を電線挿入口から突き当たるまで差し込みます。

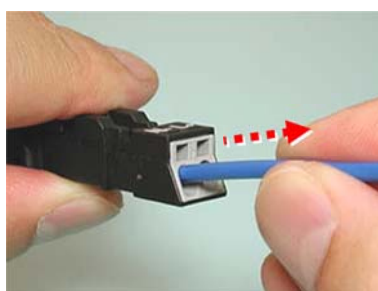


③ ドライバを抜けば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張って下さい。(強く引っ張らないで下さい。)

- 単線を結線する場合

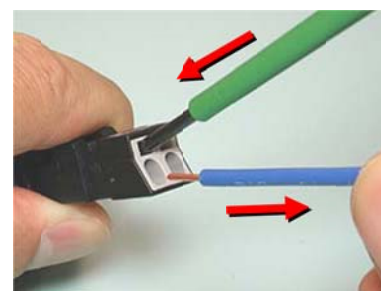


① 正しくむき出した電線を電線挿入口から突き当たるまで差し込みます。(ドライバは不要です。)



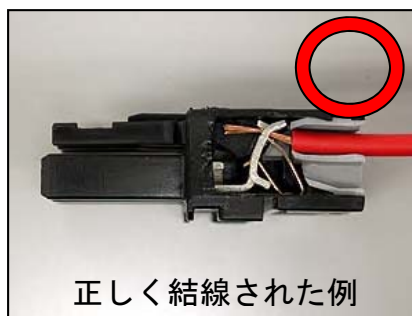
② 確認のため、電線を軽く引っ張って下さい。(強く引っ張らないで下さい。)

- 離線作業 :

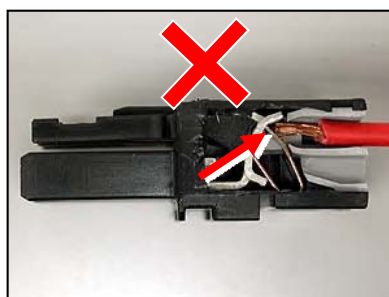


より線の結線作業①と同様の方法でスプリングを開放すれば、電線を取り外せます。

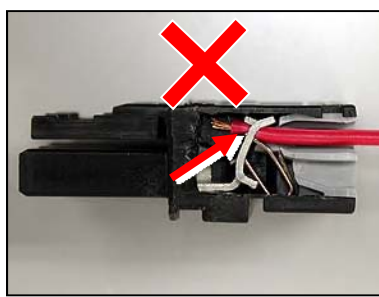
■結線作業時の注意事項



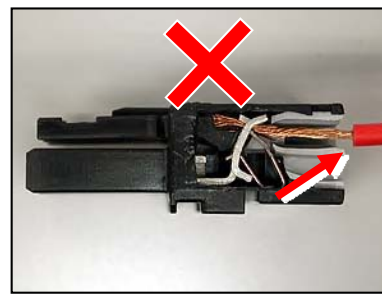
1. 電線のむき長さは、必ず守って下さい。



むき長さが短く、電線が正しくクランプされなかった場合。通電不良や発熱の恐れがあります。

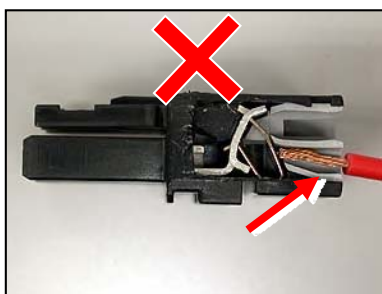


むき長さが短く、電線の被覆をかんでしまった場合。通電不良、発熱の恐れがあります。



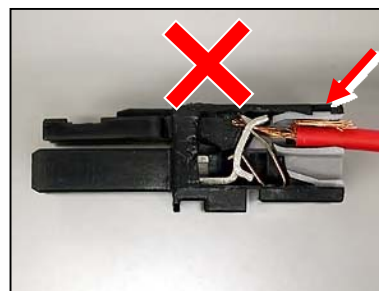
むき長さが長く、電線が露出してしまった場合。絶縁不良、ショートの原因となります。

2. スプリングとハウジングのすき間には絶対に電線を差し込まないで下さい。



あやまってドライバスロットに電線を差し込んだ場合。導電部に接触しないので、通電不良、発熱の恐れがあります。

3. 電線のバラケに注意して下さい。



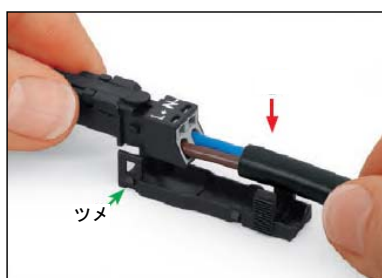
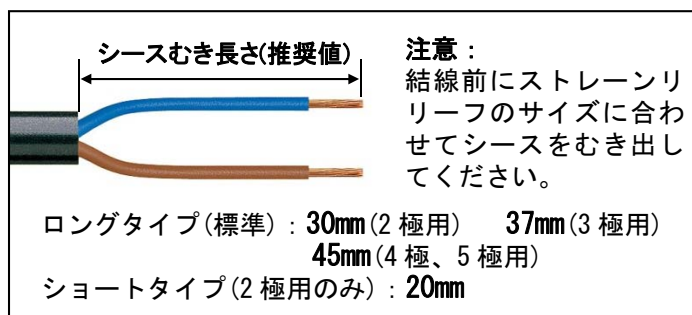
挿入時に電線がバラけてしまった場合。絶縁不良、発熱の恐れがあります。

3. 取付方法

■ ストレインリリーフハウジングの取り付け



型番についてはお問い合わせください。



① 結線済みのコネクタをストレインリリーフハウジング本体に取り付けます。ツメがロックされるのを確認して下さい。



② ケーブルクランプを取付け、押し込んで固定します。



③ ストレインリリーフハウジングカバーを本体にかぶせ、ツメがロックするまで押し込みます。

■ ケーブルクランプの取外し



ケーブルクランプの溝に刃幅2.5mmのドライバ(210-719)を差し込み、ツメのロックを外します。

■ マーキング

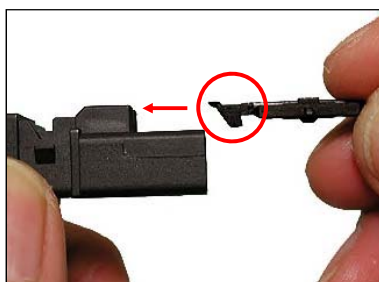


ストレインリリーフハウジングのカバーには、マーカ部分に窓があるため、取付後でもマーキングが確認できます。

■ ロッキングレバーの取付け

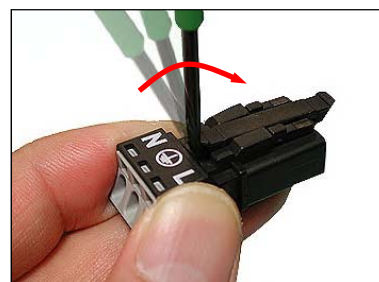


ロッキングレバー(オプション)はスナップインで取り付けできコネクタをロックすることにより、抜け防止が可能です。



ロッキングレバーの向きに注意して取り付けて下さい。

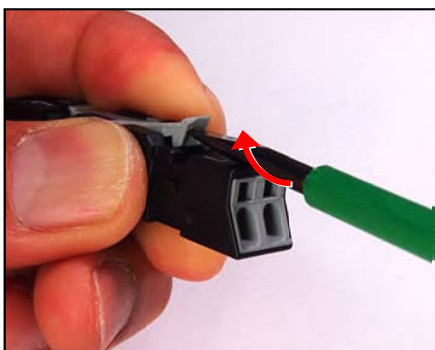
■ ロッキングレバーの取外し



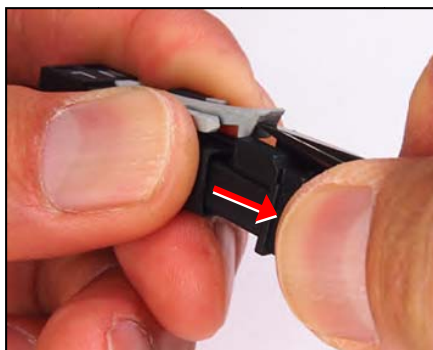
ドライバを使用して矢印の方向にこじって取り外して下さい。

4. コネクタの着脱方法

■ 中継線用プラグーソケットの取外し



ドライバをロックのくぼみ部分に突き当てて持ち上げます。

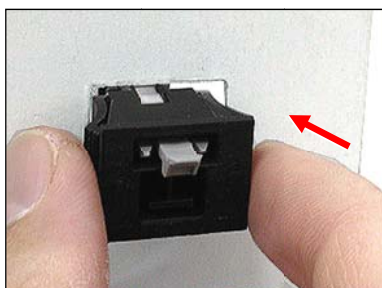


ドライバでロックを持ち上げたまま、ソケットを引き抜きます。



注意：ドライバをロックの下に差込まないで下さい。無理な力が加わりロックが破損する恐れがあります。

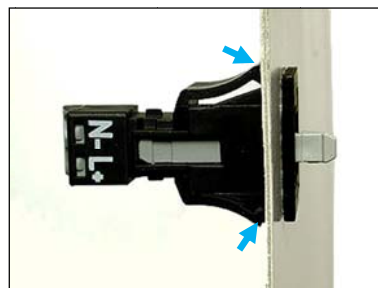
■ パネル貫通タイプコネクターパネルへの取り付け



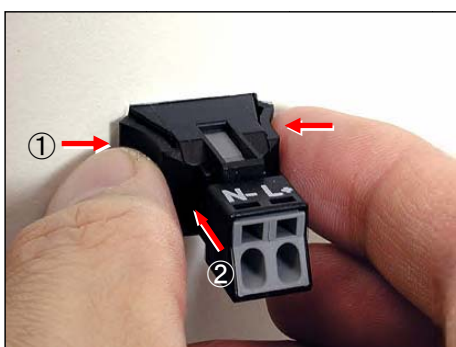
パネル面に四角いカット穴を開け、はめ込むだけで取り付けできます。



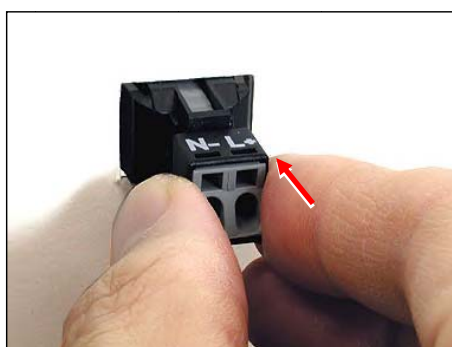
しっかりと固定されていることをご確認ください。



■ パネル貫通タイプコネクターパネルからの取り外し

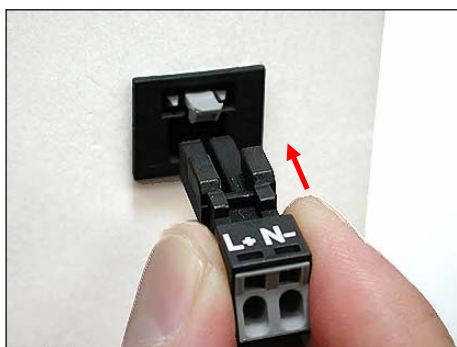


パネル裏面から、①コネクタ両側のロックを押さえながら②パネル穴に押し込みます。



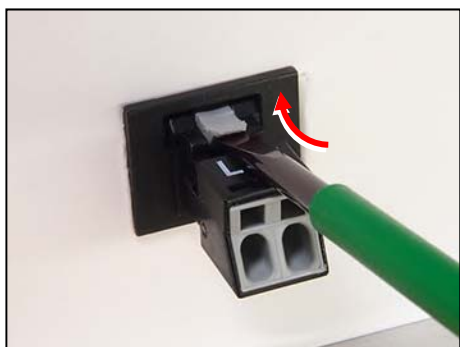
ロックが外れたら、パネル表面へ押し出して取り外します。

■ パネル貫通タイプコネクタプラグとソケットの取付け

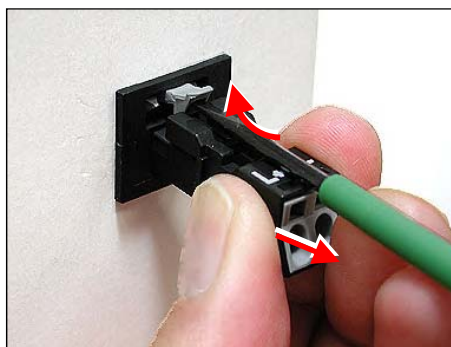


ソケットの向きを確かめ、ロックがカチッというまで差し込んで下さい。

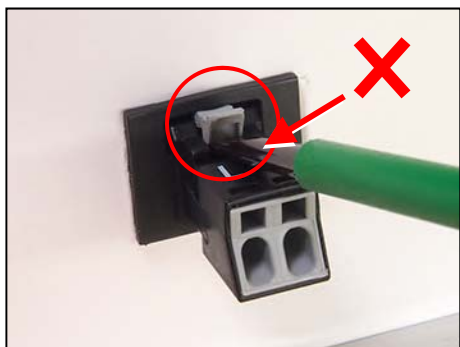
■ パネル貫通タイプコネクタプラグとソケットの取り外し



ドライバをロックのくぼみ部分に突き当てて持ち上げます。



ドライバでロックを持ち上げたまま、ソケットを引き抜きます。



注意：ドライバをロックの下に差込まないでください。無理な力が加わりロックが破損する恐れがあります。